

# 今後の地方銀行

2019-07-17

まりか

# 1, 概要

- 地方銀行の今後の施策を述べる。
- 都市銀行との比較や差別化だけでなく、信用金庫や電子決済サービス、投資信託とも比較していく。

## 2, 目的

「銀行はいらない」、何年も前から衰退していく、減少していくと言われ続けている地方銀行が将来に向けて取っている対策や方向性を探る。

### 3, 地方銀行の現状

- 全国の預貯金残高1203兆2097億円のうち、  
地方銀行全体で27.5%のシェアを占める。(2016年度)<sup>[2]</sup>
- 貸出金残高589兆3799億円のうち、  
メガバンクが39.8%に比べ、  
41.1%のシェアを占める。(2016年度)<sup>[2]</sup>
- 地方銀行64行  
第二地方銀行41行で合計105行存在する。<sup>[1]</sup>

## 4, 地銀不振・地銀再編の3つの要因<sup>[2]</sup>

3つの要因によって3大ビジネスに苦戦

1. 人口減少と高齢化
2. AI化・フィンテックの興隆
3. 低金利環境の長期化

# 5, 今後

- AI導入と店舗統合 [2]
- 法人融資では顧客に今まで以上に、寄り添ったコンサルティングを
- 法人融資より個人向け資産運用ビジネスへ転換か
- フィンテック化の加速

## 6, 参考文献

- [1]高橋克英, 図解でわかる地方銀行, 秀和システム, 2017-09-20
- [2]高橋克英, 図解入門ビジネス最新地方銀行の現状と取り組みがよ〜くわかる本, 秀和システム, 2018-03-01
- [3]伊東眞幸, 地銀連携—その多様性の魅力, 金融財政事情研究会, 2014-05-09
- [4]津田倫男, 地方銀行消滅, 朝日新聞出版, 2016-09-30

## 7, 今後の方針

- 文献、インターネットから情報を得る。
- 地方銀行各行で施策の特色が異なるので比較しまとめる。
- 都市銀行との比較や差別化だけでなく、信用金庫や電子決済サービス、投資信託とも比較していく。